

発表形式調査

- 7月の豊田・みよし地区探究活動発表会では、各班で2年間かけて行った研究（SSH成果発表会で発表した内容も含める）について発表をします。ただし、必ずしもすべての内容を盛り込まなくてもよい。（例：機器の不具合による失敗）
- 2月のSSH成果発表会での発表以上に“魅せる”発表が求められています。従来の「ポスターセッション形式」での発表だけでなく、「スライドショー形式」での発表も可能です。
- いずれの形式でも、「発表5分・質疑応答5分」の予定です。
- 発表場所は、「ポスターセッション：普通教室 スライドショー：視聴覚教室、ゼミルーム等」を予定しています。

形式	メリット	デメリット
ポスター	SSH成果発表会で作成・発表を経験済み。 一度にすべての情報が聴衆に見せられる（見えてしまう）。	成果発表会のデータに大きくアレンジする必要がある。 成果発表会のデータに内容を追加したとき、情報過多になりやすい。 図表や画像が小さくなりやすい。 動画で示すことが難しい。
スライドショー	図表や画像を大きく見せられる。 動画やアニメーションで示すことで、聴衆に分かりやすく示しやすい。	スライドショーを用いた研究発表の経験がない。 順番にでないと、情報を聴衆に見せられない。（質疑応答がしづらいことがある。）

- プレゼンテーションを作成するための参考資料（作成入門マニュアルおよび実際の発表に使われたスライド）は、
Teams → 一般 → ファイル → 「★プレゼンテーション発表予定者へ」フォルダ内にあります。

- 7月の豊田・みよし地区探究活動発表会で予定している発表形式を記入して下さい。

班番号	80（L・S）	班長	組 番 氏名
研究タイトル			
研究概要 ・研究内容を簡潔に記入			
発表形式	対面発表（ポスターセッション形式） ・ 口頭発表（スライドショー形式）		

4/25の授業終了時まで提出（生徒→担当教員）